

2018年第3回 Japan Council 理事会議題

2018年12月4日
於 機械振興会館

1. 前回理事会議事録の確認（審議） 資料（1）
2. 2019－2020年理事会・委員会メンバー（審議） 資料（2）
3. 2018年 Japan Council 活動報告 資料（3）
4. 2018年 Japan Council 決算予想 資料（4）
5. 常設委員会 2018年活動報告、2019年活動計画案および予算案 資料（5）
 - 5-1 Chapter Operations Committee
 - 5-2 Student Activities Committee
 - 5-3 Awards Committee
 - 5-4 Industry Promotion Committee
6. Ad-Hoc 委員会 2018年活動報告、2019年活動計画案および予算案 資料（6）
 - 6-1 Long Range Strategy Committee
 - 6-2 History Committee
7. 各支部 2018年活動報告、2019年活動計画案および予算案 資料（7）
8. Affinity Group 2018年活動報告、2019年活動計画案および予算案 資料（8）
 - 8-1 Women in Engineering
9. Coordinator 2018年活動報告、2019年活動計画案および予算案 資料（9）
 - 9-1 MD
 - 9-2 YP
 - 9-3 LMAG
10. 2019年 Japan Council 活動計画（審議） 資料（10）
11. 2019年 Japan Council 予算（審議） 資料（11）
12. その他 資料（12）
 - 12-1 R10 SYWL2018 参加報告
 - 12-2 次期理事会への引継事項（案）

以上

2018年第2回 IEEE Japan Council 理事会 議事録 (案)

日時：2018年7月13日(金) 14:00～17:00

場所：まちなかキャンパス長岡 3F 301 会議室

出席者：津田 Chair、尾上 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、
宮永、亀山、大石、佐藤、鈴木、野田、石橋、山本、浜村
中西、田中(代理)、藤島、桑原、原崎、
青山、白川、滝嶋、橋本、西宮、南、西原、福田(敬称略、順不同)

オブザーバ：百武、加藤(景)、宮崎、カワモト、横倉、千田(敬称略)

事務局：加藤(麻)、福岡 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料(1)
2. 2019/2020年役員選出について【審議】 資料(2)
3. 2018年上期会計報告 資料(3)
4. 新規プロジェクトについて【審議】 資料(4)
5. 常設委員会 活動状況報告 資料(5)
 - 5-1 Chapter Operations Committee
 - 5-2 Student Activities Committee
 - 5-3 Awards Committee
 - 5-4 Industry Promotion Committee
6. Ad-Hoc委員会 活動状況報告 資料(6)
 - 6-1 Long Range Strategy Committee
 - 6-2 History Committee
7. Affinity Group 2017年活動報告 資料(7)
 - 7-1 Women in Engineering【審議】
8. 各支部活動状況報告 資料(8)
9. JC Coordinator 報告 資料(9)
 - 9-1 MD Coordinator【審議】
 - 9-2 YP Coordinator
 - 9-3 LMAG Coordinator

10. その他

資料 (10)

- 10-1 MGA、MGAARC、及びAB関連のトピックス
- 10-2 R10 SYWL2018 (インドネシア) について
- 10-3 Japan SYWL について【審議】
- 10-4 JC メール配信ポリシーについて【審議】
- 10-5 国際会議の Technical Co-Sponsorship(TCS) Fee について
- 10-6 GDPR について

議事：

0. 津田 Chair ご挨拶

津田 Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料 (1)

杉江 Secretary より前回理事会 (2018 年 3 月開催) の議事録案について説明があり、異議なく承認された。

2. 2019/2020 年役員選出について【審議】 資料 (2)

原崎 Nomination Committee Chair より 2019/2020 年の Japan Council 役員候補者について推薦がなされ、異議なく承認された。

3. 2018 年上期会計報告 資料 (3)

眞田 Treasurer より説明があった。収入については、為替のレートが 108 円となり、当初予測より 101%となった。支出については、Coordinator 活動費、予備費 (WIE ILS など) の増額の希望がでており本日審議を行う。本日の審議分を加味しても収支は当初の計画通りで推移する見通しである。

4. 新規プロジェクトについて【審議】 資料 (4)

杉江 Secretary より報告があった。Section 支援費について新規提案プロジェクトを募った結果、新たに広島支部と信越支部から申請があった。今までの申請を総計するとおおよそ 85 万円となる。

広島支部中西 Chair より Student Branch 新設について申請を進めており、予定より遅れもあるとの補足があった。

南理事より新規提案プロジェクトの当初の意味合いについて質問があった。杉江 Secretary より、産業界との新たな試みや SB 新設などを含めて新規プロジェクトと考えていたが、実際に応募があったのはこの 2 件である旨、説明があった。津田 Chair より、良い取組みと考えており、最終的には各支部で Activity を継続的に進められるように方策を考えること、信越支部とも情報共有して進めてほしいとのコメントがあった。

以上、2 件の申請は異議なく承認された。

5. 常設委員会 活動状況報告

5-1 Chapter Operations Committee 資料 (5-1)

藤島 Chair から報告があった。Chapter 支援費については申請額ではなく実績額で現時点での状況を集計したところ、予算に対して進捗が芳しくないことがわかった。また、

Chapter 支援費ガイドラインの補足、改訂を行い、支援費申請書に申請 Chapter の資産残高を記載するようにした。

津田 Chair より、Chapter 支援費の実績額が低い理由を分析し、予算に対して乖離が毎年続くのであれば、予算を減額しその分を JC の他の活動に振り分けて有効活用するなどの検討も必要であるとのコメントがあった。

藤島 Chair より、要因として、以前に比べ申請上限額が 6 万円と減額された後に、現在 10 万円となっている。上限を 20 万円に戻すことも考えられるとのコメントがあった。

5-2 Student Activities Committee

資料(5-2)

杉江 JC Secretary より代理で報告があった。今年の 8 月 7~8 日開催予定の SB リーダーシップトレーニングワークショップ (SBLTW2018) の説明があった。また、SB 新設の促進、定期的な SB 活動への支援、R10 SYWL Congress への支援や Japan SYWL Workshop と MAW 福岡の共催などについて説明があった。

5-3 Awards Committee

資料(5-3)

桑原 Chair より報告があった。Awards Committee の活動状況、2019 TFA 受賞者 (日本から 4 名)、今後の予定が説明された。Awards Committee 委員リストの広島支部、四国支部は変更がある旨、コメントがあった。2019TFA 受賞者の青山理事から受賞に関してコメントがあった。

5-4 Industry Promotion Committee

資料(5-4)

原崎 Chair より報告があった。第 2 回 JC IPC 委員会を開催した。IEEE マイルストーン銘板の管理に関わる情報共有、福田理事も立候補されている President-Elect 選挙の投票率促進、WIE ILS 支援、MAW2018 準備状況、MGA Awards、今後の予定について報告があった。

杉江 Secretary より、マイルストーン銘板については東京支部理事会にて検討事項として JC に確認を行うことになり、現在、東京支部 History Committee より JC History Committee に状況を報告している、との補足があった。

6. Ad-Hoc 委員会 活動状況報告

6-1 Long Range Strategy Committee

資料(6-1)

尾上 Chair より報告があった。Pre-University 向け教育関係リストの作成(4 件,1 件進行中)および各支部への情報共有、新規提案プロジェクトの応募状況(新規 2 件)、Japan SYWL の今後の進め方、WIE-ILS の開催、JC 役員選出プロセス、等の議論についての説明、今後の予定について報告があった。

6-2 History Committee

資料(6-2)

白川 Chair より報告があった。役員体制、本年の JC HC 委員会の広島での開催予定、日本におけるマイルストーン受賞一覧が報告された。

7. Affinity Group 活動状況報告

7-1 Women in Engineering Affinity Group 【審議】

資料(7-1)

野田 Chair より報告があった。第 3 回役員会議を実施、仙台 WIE 記念講演会、男女共同参画に関する懇談会へ参加した。WIE ILS 2018 Tokyo の開催についての準備状況について説明があり、ILS2018 への JC からの支援増額の審議依頼があった。計画の見直しによって、総額が 195 万円となり、当初 15 万円のサポートに対して 50 万円を上限に増額を希望する。

南理事より、参加費と協賛金収入予算について想定通りに確保できる見通しがあるか、質問があった。野田 Chair より、スポンサーは現状 3 社と調整をしながら、他にも声掛けをしている状況にあるとの報告があった。

津田 Chair より、これは国際会議であり、通常国内で開催する WIE の会議とは異なることをアピールし、海外から参加者の少ない状態とならないように、海外から日本へ来ている方や企業にわかりやすく案内をすること、早めに内容を公開し、他の学会へコンタクトをとるなどを検討してほしいとのコメントがあった。現在、海外の方は 3 割程度の予定であるとの報告があった。また、福田理事より、ポスターなどで「情報科学」との関連をアピールすることにより、その分野からの支援が期待できるのではないかとの趣旨のコメントがあった。

以上、JC から WIE ILS への支援費増額について了承された。

南理事より、JC WIE の位置づけについてコメントがあった。JC-WIE は JC 傘下の AG としてこれまで活動してきており、当初はそれが適切な形であったと判断されたと思われるが、近年多くの section の中に WIE-AG が作られる動きとなり、そうした動きを踏まえると、JC-WIE も Coordinator 機能だけを JC に残し、活動本体については各 Section 傘下に移行することが良いのではないか。この点については LRSC でも検討いただくことが良いのではないか。本件については尾上 LRSC Chair より議論を進める旨、コメントがあった。

8. 各支部活動状況報告

8-1 札幌支部

資料(8-1)

宮永 Chair より報告があった。総会、第 1 回理事会を開催し、第 2 回理事会を 10 月に計画している。また、今後、若手研究者や学生向けの表彰事業を計画している。各種講

演会の主催・共催として、講演会 3 件、WIE 講演会 2 件が報告された。

8-2 仙台支部 資料(8-2)
亀山 Chair より報告があった。新 Fellow 記念講演会 (2 名) の実施、特別講演会の計画、SAC 活動・イベント、WIE 設立・活動支援について説明があった。資料の訂正があり、p51.の「2017-2018Sendai Section 運営体制」を「2018-2019Sendai Section 運営体制」に訂正する。

8-3 信越支部 資料(8-3)
大石 Chair より報告があった。活動報告として、第 1 回支部役員会の開催、R10 Meeting への参加、IEEE セッションの開催、学生への国際会議の奨励賞、Student Branch Startup Meeting を本日開催したことが報告された。

8-4 東京支部 資料(8-4)
佐藤 Vice Chair より報告があった。活動報告として、第 2 回理事会、支部総会、支部主催講演会 (4 件)、SB の活動、Affinity Group 活動(YP、LMAG)を実施した。また、12 月 1 日に東京支部 YP 設立 10 周年イベントを行うとの報告があった。

8-5 名古屋支部 資料(8-5)
石橋 Chair より報告があった。活動報告として、役員会・理事会、LMAG 講演会、WIE 設立に向けた準備、青色 LED (豊田合成) の Milestone 申請を進めていること、表彰事業、研究会等の実施が報告された。

8-6 関西支部 資料(8-6)
山本 Chair より報告があった。活動報告として、第 3 回理事会、開催支部主催講演会、次期役員体制について、Committee を設立し検討を開始したことが述べられた。

8-7 四国支部 資料(8-7)
浜村 Chair より報告があった。活動報告として、第 1 回役員会、講演会、シンポジウム道後 2018 の開催、各 Committee 活動について報告があった。

8-8 広島支部 資料(8-8)
中西 Chair より報告があった。総会を開催し、特別講演会、学生向け講演会を実施した。国際会議(ISMAC)、信学会のシンポジウム(MWP Symposium)、広島支部学生シンポジウム(HISS)、設立 20 周年記念シンポジウムを計画している。杉江 Secretary より 20

周年記念シンポジウムの予算計画や参加者について質問があり、中西 Chair より概要の説明があった。

8-9 福岡支部

資料(8-9)

田中 Treasurer より代理で報告があった。今後の活動として、MAW 福岡の開催日程と会場、MAW の実行委員会、Japan SYWL 共催と Authorship Workshop 共催、予算について報告があった。

杉江 Secretary より、Japan SYWL の予算計画に関する JC からの支援の大部分は、他支部から福岡支部のイベントに参加するための費用であるとの補足があった。また、原崎 IPC Chair より、Authorship Workshop 共催については IEEE 本部が主体となる旨、補足があった。

9. JC Coordinator 報告

9-1 MD Coordinator 【審議】

資料(9-1)

橋本 MD Coordinator から報告があった。第 1,2 回 JC MD WebEx 会議を実施した。各支部 MD Chair 間のコミュニケーションを図り、課題とベストプラクティスを共有した。今後は MD Chair メンバ間でのメールによる意見交換を進め、F2F 会議の開催を進める。審議事項として、F2F 会議（東京開催）を開催する場合の JC からの費用サポートの依頼があった。希望額は概算で 38 万円程度であることの説明があった。

尾上 Vice Chair より、F2F 会議と WebEx 会議の違いとその必要性について、質問があった。橋本 MD Coordinator より、MD Chair 間でより深い議論するために必要である旨、説明があった。津田 Chair より、F2F 会議でのアウトプットを明確化してほしい旨のコメントがあった。南理事より、今年度末の報告書がアウトプットと認識している旨のコメントがあった。

以上、各支部 MD との会議開催サポート費用申請について了承された。

9-2 YP Coordinator

資料(9-2)

西宮 YP Coordinator から報告があった。活動報告としては、東京 YP 活動、名古屋 YP 活動、関西 YP 活動について説明があり、R10 SYWL Congress への参加準備状況について報告があった。

9-3 LMAG Coordinator

資料(9-3)

青山 LMAG Coordinator より報告があった。IEEE 全体で考えると、R10 は Life Member の割合が少ないが、R10 のなかでは日本がほとんどであり、着実に数が増えて

いる。今後、仙台、福岡等での LMAG の発足を期待している。また、4月に開催された全 Region 参加の Life Member Committee の報告があった。LMC Task Force の設置提案、Fellowship の改案、R5における”Stepping Stone Award”設置、Tokyo LMAG の Awards 応募結果、IEEE 及び R10 への LMAG 活動費申請について報告された。

10. その他

10-1 MGA、MGAARC、及び AB 関連のトピックス 資料 (10-1)

南理事より報告があった。MGA Awards 2 件の受賞者は近日に公開される予定であること、Friend of IEEE MGA Award への日本からのノミネーションについて報告があった。また、日本における幹事会社による Section、Council 活動のサポートの状況が報告された。さらに、MGA 関連として Committee Member の Call for Nomination、AB 関連の Awards のアナウンスが報告された。

10-2 R10 SYWL2018 (インドネシア) について 資料 (10-2)

杉江 Secretary より報告があった。日本全体で 20 名のレジストレーションがあった。

10-3 Japan SYWL について【審議】 資料 (10-3)

杉江 Secretary より審議依頼があった。本イベントの継続的な開催を行うため、JC に準備委員会を設立することとしたい。準備委員会の主な構成メンバを JC-YP Coordinator、JC-LMAG Coordinator、JC-WIE、JC-SAC、JC Secretary とし、開催の決定と実行委員会の設立を行う。企画については、費用など実施規模が確定後に理事会承認を得て実施することとする(メール審議)。Japan SYWL Workshop2018 の企画書について、西宮 YP Coordinator から説明があった。

南理事より、隔年開催や Congress にするなど検討してもよいのでは、とのコメントがあった。

広島支部 中西 Chair より、支部で実行委員会を立ち上げて進めるとあるが、実行については支部での裁量があると理解している。支部ごとに Student、YP、WIE、LMAG のそれぞれで温度差があり、当該組織がない支部もあるために、実行には配慮と時間が必要になってくるとのコメントがあった。尾上 Vice Chair より、JC と支部でリエゾンがコミュニケーションを取って企画を進めるという方向と理解している。西原理事より、SYWL に関しては、メンバの Affinity Group への登録は特に開催条件であるわけではなく、広く考えてもよいとのコメントがあった。また、今年については、実施規模、収支状況により判断することとする。

支部へは強制ではないこと、支部と JC の合意の下で進めるという条件のもとで、本審議事項については異議なく了承された。

10-4 JC メール配信ポリシーについて【審議】

資料 (10-4)

杉江 Secretary より、JC のメール配信が IEEE 本部の eNotice を使用することに伴い、現在の配信規定を更新するため審議依頼があった。基本方針として本部メール配信システム (eNotice) の使用で一本化する。配信ポリシーについては、IEEE 本部のメール配信ポリシーに従うこととする。JC からの配信に関しては Japan Council 役員、Chapter 役員の承認を得ることとする。また、各支部での配信は、各支部役員、各支部 Chapter 役員の承認を得ることとする。

以上、異議なく了承された。

10-5 国際会議の Technical Co-Sponsorship(TCS) Fee について 資料 (10-5)

杉江 Secretary より MGA BoD での方針決定について報告があった。IEEE Geo Unit と TCS を締結している国際会議は 1,000 ドルに加え、IEEE Xplore 掲載費として 15 ドル/Paper の費用負担を行う。なお、Xplore に掲載しない場合でも、定額 1,000 ドルを負担することとなった。

10-6 GDPR について

資料 (10-6)

杉江 Secretary より、GDPR の適用対象及び IEEE での対応について報告があった。

以上

【配布資料】

- ・ JC 主要イベントカレンダー

【補足】

理事会終了後同会場にて、信越支部との意見交換会を行い、その後長岡グランドホテルにて懇親会が開催された。

【2018年第2回 IEEE Japan Council 理事会 集合写真】



2019-2020 年 Japan Council 理事会構成

役員 (Officers)

Chair	尾上 孝雄 (大阪大学)
Vice Chair	佐波 孝彦 (千葉工業大学)
Secretary	滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)
Treasurer	羽瀧 裕真 (茨城大学)

支部代表 (Section Representatives) --- 下記、注2 参照

* Fukuoka Section, Chair	未定	(*****)
* Hiroshima Section, Chair	大久保 賢祐	(岡山県立大学)
* Kansai Section, Chair	杉江 俊治	(京都大学)
* " Vice Chair	梅田 信雄	(関西電力)
* Nagoya Section, Chair	穂積 直裕	(豊橋技術科学大学)
* Sapporo Section, Chair	大鐘 武雄	(北海道大学)
* Sendai Section, Chair	亀山 充隆	(石巻専修大学) : 2018.1.1~
* Shikoku Section, Chair	野口 一人	(愛媛大学)
* Shin-etsu Section, Chair	加藤 景三	(新潟大学)
* Tokyo Section, Chair	徳田 英幸	(NICT)
* " Vice Chair	宇佐見 正士	(KDDI)
* " 理事	野田 夏子	(芝浦工業大学)
* " 理事	未定	(*****)

常設委員会委員長 (Standing Committee Chairs) --- 委員会構成は下記参照

* Chapter Operations Committee	福田 英輔	(富士通研究所)
* Student Activities Committee	梶川 嘉延	(関西大学)
* Awards Committee	桑原 秀夫	(富士通研究所)
* Industry Promotion Committee	山田 武士	(NTT)

理事会承認理事(Additional Members appointed by the Council Committee)

Past Chair	津田 俊隆	(早稲田大学)
Past Secretary	杉江 利彦	(NTT エレクトロニクス)
Past Treasurer	眞田 幸俊	(慶應義塾大学)
WIE Affinity Group, Chair	野田 夏子	(芝浦工業大学) : 2018.1.1~
History Committee (ad hoc), Chair	白川 功	(兵庫県立大学)
LRSC	重松 昌行	(住友電工)
MD Coordinator	栗本 宗明	(名古屋大学)
YP Coordinator	竹村 龍一	
LMAG Coordinator	青山 友紀	(慶應義塾大学)

本部および Region10 役員 (Ex-Officio)

2019 IEEE President Elect	福田 敏男 (名城大学)
2019 IEEE Technical Activities Vice President-Elect	小菅一弘 (東北大学)
MGA Awards and Recognition Committee Chair	南 隆敏 (元富士通研究所)
2019 IEEE Life Member Committee	青山 友紀 (慶應義塾大学)
Region 10 Director	西原 明法 (東京工業大学)
Region 10 Secretary	橋本 隆子 (千葉商科大学)
Region 10 Treasurer	高村 誠之 (NTT)
Region 10 R10 Vice-Chair of Professional Activities	尾上 孝雄 (大阪大学)
Region 10 Women In Engineering Committee Chair	矢野 絵美 (リコーITソリューションズ)
Region 10 R10 Young Professionals Committee Chair	鈴木 拓央 (愛知県立大学)

注1. *印は議決権のある理事。

注2. 支部代表理事は、会員2000人以下の支部は1名、2001人以上2000人ごとに1名追加する。

● 2019-2020年 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	福田 英輔 (富士通研究所)	末松 憲治 (東北大学)	山本 哲矢 (パナソニック)
Student Activities	梶川 嘉延 (関西大学)	大野 光平 (明治大学)	小澤佑介 (茨城大学)
Awards	桑原 秀夫 (富士通研究所)	波多野 睦子 (東京工業大学)	鷹取 泰司 (NTT)
Industry Promotion	山田 武士 (NTT)	河東 晴子 (三菱電機)	鈴木 麻由美 (日立製作所)

● 2019-2020 Ad-Hoc 委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Long Range Strategy	佐波 孝彦 (千葉工業大学)		滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)
History	白川 功 (兵庫県立大学)	島村 和典 (高知工科大学)	荒木 章子 (NTT)

2018年 Japan Council 活動報告

1. Japan Council 理事会開催

第1回	: 3月19日	東京・大手町ファーストスクエア	出席者: 理事会メンバ28名
第2回	: 7月13日	信越・まちなかキャンパス長岡	出席者: 理事会メンバ26名
第3回	: 12月4日	東京・機械振興会館	出席者: (未)

2. 主要議題および支部との連携強化・活動支援

- Section Assessment の13%を各支部に還元する予算計画を策定し、実施した。
- Section 支援費規定の改訂。Web に理事専用サイトを設け掲載。また新規活性化施策への支援について募集を行った。
- MD/YP/LMAG Coordinator による活性化に向けた活動を推進した。
- WIE ILS 2018 Tokyo を11月9～10日芝浦工業大学にて開催した。
- 信越支部（長岡）にて第2回 理事会・懇親会を開催、信越支部役員との交流を実施。同時に信越支部 SB Startup MTG を信越支部およびJC 関係者で開催した。
- 福岡支部主催 MAW in Fukuoka を11月5日の開催を支援した。
- 広島支部設立20周年事業を支援、広島支部 SB (San-in SB) の新設を支援した。(10月7～8日 Kick-Off Meeting 開催)

3. 常設委員会の活動

- Chapter Operations Committee (COC)
6月25日及び11月15日に当該委員会を開催し、Chapter 支援費の利用状況、支援費運用の考え方、Award ガイドライン、などについて、報告、審議、意見交換を行った。
- Student Activities Committee (SAC)
Student Branch Leadership Training Workshop を8月7～8日に東京電機大学にて開催した。R10 SYWL Congress (Bali) へのSB からの参加者を支援した。(SAC 予算からは6名)
- Industry Promotion Committee (IPC)
委員会を開催した(3月12日、6月26日、11月21日)。福岡支部MAW開催を支援。選挙の投票率向上、WIE ILS への各企業の支援について依頼。支援企業への Awards の応募の周知を行った。
- Awards Committee (AC)
委員会を開催した(10月19日)。受賞対象者やフェロー対象者の状況把握と増加に向けた対応策の議論を行った。

4. Ad-Hoc 委員会の活動

- Long Range Strategy Committee (LRSC)

委員会を開催した(3月14日、6月9日、10月16日)。新規活性化企画、教育関連活動の企画・情報共有、財政運営、組織運営等について状況の把握と課題、今後の対応策を検討を行った。

- History Committee (HC)

委員会を10月26日広島支部管内(広島オフィスセンター会議室)にて開催し、マイルストーン関連の情報交換、獲得に向けて意識向上を行った。

5. Affinity Group および JC Coordinator の活動

- Women in Engineering (WIE) :

仙台 WIE 設立1周年記念講演会にて講演(4月14日)。総理大臣官邸にて開催の男女共同参画に関する懇談会に参加(6月27日)。R10 SYWL Congress (Bali, Indonesia) への参加・WIE ILS 2018 Tokyo を実施した(11月8~9日)。

- Coordinator

-MD : 会議開催 (WebEx 2回・F2F1回) : MD会議の進め方、各支部のMD活動やベストプラクティスの共有、データをもとに分野ごとの会員の推移の把握と対応策、IEEE の会員 Value についての議論を行った。

-YP : Japan YP News Letter 発行・各支部 YP 活動のサポート。R10 SYWL Congress (Bali, Indonesia) /Region 10 SYW Workshop 2018 (Seoul) へ参加した。

-LMAG : 仙台支部 LMAG の新設準備支援。Web に LMAG Coordinator ページを新設。挨拶および各支部 LMAG へリンクし情報が共有できるようにした。

- 日本の Affinity Group ・ SB の連携

Japan SYWL Workshop の今後の実施方法を策定。JC 第2回理事会にて具体的な進め方について議論。プロモーションを開始した。

6. 本部、R10 との連携強化

- R10Meet 2018 (Langkawi, Malaysia) に参加し、他 Council や Section と情報交換を行った。(3月3~4日)

- IEEE Standard association Forum (Hilton Hotel)(3月7日)に参加した。

- R10 SYWL Congress (Bali, Indonesia) に JC および各支部から合計18名が参加した。(他に R10 としての参加者あり)(8月31日~9月2日)

- R10 SYWL Congress 前日に同地にて開催された Entrepreneurship Workshop へ参加した。(8月28日)

- TENCON2018 (Jeju Island, Korea) (10月28~31日)に合わせて開催された Region 10 SYW Workshop 2018 (Seoul, Korea) (10月26~27日) へ参加した。

- ・ Karen Bartleson IEEE 前 会長の来日
WIE ILS 2018 Tokyo (11月9～10日) に出席、講演、その後関西支部にて講演を行った。
 - ・ Bozena Pasik-Duncan IEEE WIE Chair の来日
WIE ILS 2018 Tokyo (11月9～10日) に出席、講演を行った。
7. 国内学会との協力関係の推進
- ・ IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進、昨年度の連携事業の把握、MOU 更新作業を継続した。
8. その他
- ・ MGA、が設定した Recruitment・Retention Performance 目標の達成等の優れた会員獲得状況に対して7支部が表彰を受けた。
 - 2018 Outstanding Section Membership recruitment and retention Performance (Gold)
名古屋支部・四国支部・広島支部
 - 2018 Outstanding Section Membership Recruitment Performance (Silver)
札幌支部・信越支部・東京支部・関西支部
 - ・ IEEE Annual Elections で 2019 IEEE President-Elect に福田敏男先生、2019 IEEE Technical Activities Vice President-Elect に小菅一弘先生が当選された。

以上

IEEE Japan Council 2018年中間会計(2018/1/1~11/22) ・ 期末予測 活動ベース

2018.12.03

単位: JPY

予算想定レート: US\$1 = ¥107-

【一般会計】	2018年当初予算		中間 (11/22)	2018年予測	期末予測 予算比	備考
【収入の部】						
210 Meetings & Social Events						
定期開催 会議/懇親会参加費収入	100,000	114,000	114,000	114%	懇親会参加費	
310 Rebate from IEEE HQ						
WIE Rebate	31,565	32,647	32,647	103%	\$295-	
Chapter Rebate	0	0	0	-		
320 Region Receipts						
WIE FUND	32,100	214,020	214,020	667%	\$400-, ILS \$ 1,500-	
その他 Fund等	0	54,375	54,375	-	R10 Incentive Golden Jubilee book (\$500-)	
330 Sections or Councils						
各支部からの拠出金	26,197,131	27,172,183	27,668,880	106%	\$ 255,791- (平均レート ¥108-)	
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards)						
監査費用サポート	198,400	198,400	198,400	100%		
340 雑収入 (CB口座)	2,000	1,289	2,000	100%		
345 雑収入 (CB以外)	2,000	1,376	2,000	100%		
① 収入合計	26,563,196	27,788,290	28,286,322	106%		

【支出の部】	2018年当初予算		中間 (11/22)	2018年予測	期末予測 予算比	備考
410 Meetings & Social Events						
理事会・各委員会費	4,300,000	2,257,845	3,500,000	81%		
その他会費	50,000	16,632	50,000	100%	SYWL打合せ	
480 Student Activities						
SB支援費	2,150,000	1,316,193	1,700,000	79%		
490 Other Program Expenses						
WIE支援費	690,000	268,803	450,000	65%	予算にILS¥150,000含む	
WIE Rebate & Fund支払い	63,665	0	246,667	387%		
Coordinator 活動費	500,000	247,538	500,000	100%	予算 YP ¥ 325,000- / MD ¥ 175,000-	
550 Support to Sections/Chapters						
Section Assessment 還元	3,405,627	3,534,202	3,598,968	106%	13%還元	
Section 支援費	1,500,000	302,771	900,000	60%	【申請番号2018-1~12】計¥1,016,403- →実施報告 一部減額見込み	
Chapter支援費(COC分配分)	4,000,000	1,253,092	4,000,000	100%		
Chapter支援費(COC分配分)	0	0	-902,578	-	2017年未払い残高 ¥ 2,352,540 - 支払 ¥ 1,449,962-	
Chapter Rebate支払い	0	0	0	-		
事務局費合計	10,764,665	9,414,165	10,464,665	97%	JC/東京支部共通費用(主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等)のうちJC負担分 80%	
事務局費1計(注1)	9,356,000	8,576,333	9,356,000	100%	共通サーバ(運営費のうちJC負担分 75%	
事務局費2計(注1)	408,665	374,610	408,665	100%	監査費用・手数料・JC用棚購入設置 ¥162,000-・備品等	
事務局費3計	1,000,000	463,222	700,000	70%		
予備費	2,500,000	773,904	1,716,106	69%		
MAWおよび関連費用	1,000,000	122,726	716,106	72%	うち福岡支部申請 ¥ 593,380-	
その他 R10SYWL(2018)等	1,500,000	651,178	1,000,000	67%	R10Meet 230 R10SYWL Congress@Bali 330 広島支部設立記念関係者旅費 90 (千円)	
② 支出合計	29,923,957	19,385,145	26,223,828	88%		

③ 収入-支出 (③=①-②)	-3,360,761	8,403,145	2,062,494	
------------------------	-------------------	------------------	------------------	--

(注1: 事務局費1~2についての中間会計は予算月割りの暫定額にて報告)

④ 前年度からの繰越金	20,739,363		20,739,363	
⑤ 次年度への繰越金 (活動基準) (③+④)	17,378,602		22,801,857	積立金を除く繰越金は7,500 (千円) を目安とする ⇒2020年11月150万/月×4ヵ月 = 600万(〜Rebate支払まで)

【積立金】 記念イベントに使用

支出: 広島支部記念イベント支援	300,000	0	300,000	
⑥ 前年度からの繰越金	11,643,339		11,643,339	
⑦ 次年度への繰越金 (総額 活動基準)	11,343,339		11,343,339	

【総計】

単年の総収支	-3,660,761	8,403,145	1,762,494	
前年度からの繰越金	32,382,702		32,382,702	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) ⑤ + ⑦	28,721,941		34,145,196	
(内訳) ⑤ 一般会計	17,378,602		22,801,857	
(内訳) ⑦ 積立金	11,343,339		11,343,339	

■ 11月22日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	39,620,475
内訳 普通預金	25,257,186
小口現金	7,477
CB口座	362,502
定期預金	13,993,310

2018/12/6

2018年Section支援費 管理リスト

申請番号	申請月日	支部	事業種 名称/題目	開催期間	申請金額	決定金額	審議状況	実施日	報告書提出日	振込日	振込金額	備考	支部別 2018年決定額	
2018- 1	2018/3/6	関西	講演会 第100回記念技術講演会	(2017年) 12月	100,000	100,000	承認	2017/12/16	2018/1/31	2018/4/27	100,000		札幌	0
2018- 2	2018/3/7	関西	シンポジウム Kansai WIE Symposium	10月	100,000	100,000	承認						仙台	140,000
2018- 3	2018/3/8	関西	Award SB英語プレゼン大会	10月	130,000	130,000	承認						信越	16,700
2018- 4	2018/3/8	関西	Award SBブレインストーミングコンテスト大会	9月	30,000	30,000	承認						東京	0
2018- 5	2018/3/8	仙台	Award Student Awards 2018	12月	140,000	140,000	承認					申請25万から14万に修正(4/3)	名古屋	164,730
2018- 6	2018/3/2	広島	シンポジウム HISS運営補助支援費	11月	100,000	0	承認					12/4申請取消	関西	360,000
2018- 7	2018/4/12	名古屋	Award 学生奨励賞(北陸)	12月	7,500	7,500	承認						四国	0
2018- 8	2018/4/12	名古屋	Award 国際会議研究発表賞	3月	120,230	120,230	承認	2018/3/24	2018/4/12	2018/7/24	120,230		広島	75,000
2018- 9	2018/4/12	名古屋	Award 若手奨励賞	12月	37,000	37,000	承認						福岡	0
2018- 10	2018/5/31	広島	その他 <新規提案プロジェクト> Sanin-SBのマッチング・ミーティング	9月	75,000	75,000	承認	2018/10/7	2018/10/11	2018/10/24	67,416	申請10万から7.5万に修正(6/21)	合計	756,430
2018- 11	2018/7/5	信越	その他 <新規提案プロジェクト> SB Start-Up Meeting	7月	16,700	16,700	承認	2018/7/13	2018/7/18	2018/7/24	15,125			
2018- 12	2018/11/30	信越	Award 信越支部学生国際会議参加奨励賞	12月	160,000									
合計					1,016,430	756,430					302,771			

2018年MAW申請

	申請月日	事業種 名称/題目	開催期間	申請金額	決定金額	審議状況	実施日	報告書提出日	振込日	振込金額	備考
MAW	2018/3/6, 12/3	福岡 その他 MAW福岡	11月	593,380				2018/12/3			

2018年2月15日 制定

Section 支援費申請書 (2018年版)

申請番号(事務局)	申請支部	申請者	役職	申請月日
2018- 12	信越	カワモト、ポーリン・ナオミ	Treasurer	2018年 11月 30日

1. 支援(補助)を受けたい提案案件

名称	IEEE 信越支部学生国際会議参加奨励賞
主催者/共催者名	主催: IEEE 信越支部

2. 企画案の主な内容・アジェンダ

IEEE信越支部のエリアに学ぶ学生で、2018年1月～2018年12月に国際会議で発表した学生、
または発表する予定の学生を対象とした「学生国際会議参加奨励賞」のアワード。

応募条件には、「IEEE 会員である者または会員の申し込みをした者(企業などに所属する社会人学生は対象外)」とあり、学生の身近にある IEEE 信越支部の活動を知るきっかけとなれば支部の学生会員増加に繋げて行きたい。

3. 開催時期と場所

開催時期	開催場所
2018年 12月 日	
備考	
報告予定時期	
2019年 1月 日	

4. 申請金額

申請金額	¥160,000	実施費用総額	¥325,184
備考	学生国際会議参加奨励賞 合計320,000円 振込手数料 合計 5,184円		

5. 支部の財政状況(予測)

繰越金	2017年→2018年	¥1,056,227	2018年単年度支出(繰越金除く)	¥1,294,435
繰越金	2018年→2019年	¥884,539		

<提出先> IEEE Japan Council事務局: TEL: 03-5776-7670 E-mail: jc@ieee-jp.org

事前申請、理事会審議、を経て事業終了後、実施報告・会計報告(領収書)に基づき事務局が支払う。

2018年2月15日 制定 (2018年10月25日更新)

Section支援費申請書 (2018 年)

申請番号(事務局)	申請支部	申請者	役職	申請月日
2018 -	福岡	田中康一郎	Treasurer	2018年 12月 3日

1. 支援(補助)を受けたい提案案件

名称	Metro Area Workshop in Fukuoka
主催者/共催者名	IEEE福岡セクション

2. 企画案の主な内容・アジェンダ

趣旨：IEEEが深く関わる技術的課題について最新動向を広く一般に紹介して異分野・異業種交流の機会を提供し、その理念であるAdvancing Technology for Humanityをさらに推進して社会の発展に貢献する。

講演会：

1. 「人工知能ってなに？どこにある？」V. ヴァルガス ダニロ (九州大学)
2. 「ネットワークデザインが育むこれからの地域社会」江崎 浩 (東京大学)
3. 「センサーネットワークによる食と農のクラウドサービス」渡邊勝吉(富士通九州システムズ)
4. 「i3-Mechatronicsで実現する新たなものづくり」園原吉光 (安川電機)

交流会：

3. 開催時期と場所

開催時期	開催場所
2018年 11月 5日	ハイアットリージェンシーホテル福岡
備考	
報告予定時期	
2018年 12月 4日	

4. 申請金額

申請金額	¥593,380	実施費用総額	¥650,442
備考	室料・懇親会開催費	532,374円	
	Webサイト制作等	30,000円	
	講師謝金・交通費(4名分)	85,908円	
	振込手数料(6件)	2,160円	

5. 支部の財政状況(予測)

繰越金	2017年→2018年	¥3,852,572	2018年単年度支出(繰越金除く)	¥3,300,000
繰越金	2018年→2019年	¥4,200,000		

<提出先> IEEE Japan Council事務局：TEL: 03-5776-7670 E-mail: jc@ieee-jp.org

事前申請、理事会審議、を経て事業終了後、実施報告・会計報告(領収書)に基づき事務局が支払う。

Section 支援費実施報告兼会計報告 (2018)

2018年12月4日

福岡セクション Treasurer 田中康一郎

【申請時の申請番号】 2018-MAW

案件名：IEEE Metro Area Workshop in 福岡へのJC補助

1. 実施報告

(1) 開催日時：2018年11月5日(月)

(2) 開催場所：ハイアットリージェンシーホテル福岡

(3) 主催：IEEE 福岡セクション

共催：なし

後援：(一社)電子情報通信学会・(一社)情報処理学会・(一社)電気学会・(一社)照明学会・(一社)電気設備学会九州支部・(公社)応用物理学会・九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会・大分県LSIクラスター形成推進会議・(一社)組み込みシステム技術協会九州支部・NPO 法人 QUEST・九州IT融合システム協議会・農業食料工学会九州支部

(3) 参加者(人数、内訳)：

合計 85名

(内訳) アカデミア 39名

民間企業等 42名

IEEE関係者 5名

(4) 主なプログラム：

講演：1. 「人工知能ってなに？どこにある？」 V. ヴァルガス ダニロ (九州大学)

2. 「ネットワークデザインが育むこれからの地域社会」江崎 浩 (東京大学)

3. 「センサーネットワークによる食と農のクラウドサービス」渡邊勝吉(富士通九州システムズ)

4. 「i3-Mechatronics で実現する新たなものづくり」園原吉光 (安川電機)

交流会

2. 会計報告

(1) 収入

・JC補助： 593,380 円

・支部負担： 22,902 円

・交流会参加費： 32,000 円

収入合計： 648,282 円

(2) 支出

2018年第3回 Japan Council 理事会資料 (4-4)
2018年2月15日制定
(2018年10月25日更新)

・会場使用料(交流会飲食料含む) :	532,374	円
・Web制作・登録処理費 :	30,000	円
・講師旅費・謝金 :	85,908	円
支出合計 :	648,282	円

(3) 収支 ゼロ

3. その他
なし。

【PHOTO】



◆領収書の写し (別紙) : 支出に対応

◆銀行口座 : 銀行名 西日本シティ銀行 シーサイドももち出張所

預金種別 < 普通 > 口座番号 0040997

口座名 IEEE Fukuoka Section 会計 田中康一郎

フリガナ アイトリプルイー フクカセクション

以上

IEEE Japan Council Chapter Operations Committee
2018年度活動報告と2019年度活動計画

IEEE-JC Chapter Operations Committee

1. 2018年Chapter Operations Committee Meeting

- ・第1回・・・ 6月25日 機械振興会館にて開催
 - ・第2回・・・ 11月15日 機械振興会館にて開催
- *会議開催の為の費用（会場費、参加者旅費など）はJapan Councilの会合費予算枠で、支援費予算とは別に2019年開催分として、110万円を確保頂く予定。

2. Chapter支援

- ・2018年これまでの支援結果： **4,043,984円**
 - 内訳概要： 申請計**96**件、内 Awardは **1,730,000円 (50件)**
- ・2019支援予定： 予算 4,000,000円
 (次回Japan Council理事会での承認を前提とする)

(単位：円)

年	予算額	実績額
2018	4,000,000	4,043,984(*)
2017	4,000,000	2,846,930 (**)
2016	4,000,000	1,841,107 (***)

(*)2018/11/8 時点の申請額

(**)2017年分は2,142,930円支払済み、残案件は申請額を積算

(***) 2017年度未払い分組み戻しにより修正

- ・Chapter支援費ガイドライン：

大筋で問題はないが、今後も実情に応じて、ガイドラインの補足、改定、並びに支援費申請書様式改定を行い、スムーズな申請審査と支援を実行できるようにする。

3. Award登録

- ・**27** Chapter より**50**件の登録。

・必要に応じて、引き続きAward登録ガイドラインの表現見直し、申請書様式改定、及び内規の改定を行う。

4. 各Chapterのホームページ運用状況

- ・Chapter Operations Committee Meeting前に運用状況を把握し、積極的な運用を再度要請する。

5. 重要課題への対応

【支援費予算執行状況と今後の方針】

2016年から、一事業あたりの支援額を10万円として運用している。2019年も同様の運用とする。

① 基本的な考え方：

- これまでと同様に、Chapter毎の会員数、Activityの高さと実績に応じ、公平感のある支援費配分を行う。

② 活動方針：

- Chapter Award は重要な Chapterの活動と考えられるので、全ての Chapterで計画通りに実行できるよう、年間予算で確保。(年間 約**300**万円)
- 会員数の多いChapter、Activityの高いChapter(申請ベース)に予算を重点配分する。この方針はこれまでと変更なし。
- 公共施設利用による講演会の開催など、開催事業の経費節減に配慮して欲しい。
- Award登録およびChapter支援費申請の様式更新にあたっては、各ChapterにメールまたはCOCミーティングで周知する。
- Distinguished Lecturer 講演は、Parent Societyが支出費用を賄うことが原則。

• Chapter支援費について

- Chapter支援ガイドラインには

2. Chapterが主体的に活動し、その主体性が外部から明白である(基本的考え方)

B. 支援する事業は「主催」「共催」に限定し、「協賛」「後援」等は支援しない。但し、「協賛」「後援」であっても、行事全体の中で特定部分が実質的にChapter主催であり、外部からChapterの主体性が明白である場合は、支援する。(運用に関する留意点)

と記されている。一方で、「運用に関する例示」には

b. 他学会の事業に含まれる形でChapterの事業を実施する場合でも、Chapterが主体となって活動していることが外部から明白であれば支援する(留意点B)

(例) 共催・協賛・後援する研究会やシンポジウムの中で、「IEEE〇〇 Society Japan Chapter講演会」を開催し、講演会がChapter主催であることが明白な場合。(主催者を明記するなど)

という記述がある。電子情報通信学会等が主催する有料研究会に含まれる一部のセッションをChapter主催と称することは「Chapterの主体性が明白である」という基本的考え方や運用に関する留意点沿っていると言い難い。そこで、「運用に関する例示」を以下の通り改定したい。

現	改正案
<p>b. 他学会の事業に含まれる形でChapterの事業を実施する場合でも、Chapterが主体となって活動していることが外部から明白であれば支援する（留意点B）</p> <p>（例）共催・協賛・後援する研究会やシンポジウムの中で、「IEEE〇〇Society Japan Chapter講演会」を開催し、講演会がChapter主催であることが明白な場合。（主催者を明記するなど）</p>	<p>b. 他学会の事業と関連する形でChapterの事業を実施する場合でも、Chapterが主体となって活動していることが明白であれば、支援する。（留意点B）</p> <p>（例）共催・協賛・後援する他学会の有料研究会やシンポジウムと連続し、参加費無料の「IEEE 〇〇 Society Japan Chapter講演会」をChapterが独立して主催する場合。</p>

・ Award登録について

- ・ 2019年より継続, 新規問わずすべてのAwardに登録申請が必要となる. 11月末日締め切りで現在2019年Award申請を行っている. 2018年より継続してAward登録を行う場合には申請してほしい. なお, 11月未までに申請がない場合, そのAwardは2018年で終了となる. ただし, 新規登録は通年で可能である.

以上

2018年 Chapter支援費 申請状況

申請 No.		申請書 受付日	Chap ter	Code	親支部	事業区分 (その他→WS/研究会等)	Award #	タイトル	開催期間	支援金額	支払金額 (確定)	審議状況
2018	1	2017/10/3	PE	31	東京	Award	2015-0051	IEEE PES Japan Joint Chapter Student Best Paper Award	2018/1/12	50,000		承認済
2018	2	2017/11/8	ED	15	東京	その他		IEEE EDS Japan Chapter総会 及び IEDM報告会	2018/2/2	60,000	55,632	承認済
2018	3	2017/11/10	AP	3	名古屋	国際会議		2018 IEEE International Workshop on Electromagnetics: Applications and Student Innovation Competition (iWEM2018)	8/29-31	100,000	100,000	承認済
2018	4	2017/12/4	AP	3	関西	講演会		IEEE AP-S Kansai Joint Chapter 特別講演	2018/1/18	30,000	30,000	承認済
2018	5	2017/12/22	SMC	28	広島	Award	2016-0018	IEEE SMC Hiroshima Chapter Best Presentation Award	未定	10,000	10,000	承認済
2018	6	2017/12/24	MTT	17	東京	講演会		[特別講演] 2017年ヨーロッパマイクロ波会議出席報告	1/25-26	8,000		修正中
2018	7	2017/12/26	SP	1	東京	講演会		澤田 宏氏 IEEE フェロー記念講演	3/19-20	100,000		再審議中
2018	8	2017/12/27	GRS	29	東京	Award		IEEE GRSS Japan Chapter Young Researcher Award	2018/3/9	32,000	13,499	承認済
2018	9	2018/1/5	DEI	32	東京	Award	2015-0052	IEEE DEIS Japan Chapter Student Best Paper Presentation Award in International Conferences	2018/3/15	40,000	40,000	承認済
2018	10	2018/1/5	DEI	32	東京	Award	2015-0053	IEEE DEIS Japan Chapter Best Paper Presenteation Award in Japanese Technical Meetings	2018/3/15	30,000	30,000	承認済
2018	11	2018/1/15	MTT	17	関西	その他		マイクロ波/ミリ波センシング技術の最新動向ワークショップ	2018/2/17	100,000	75,131	承認済
2018	12	2018/2/9	SSC	37	東京	国際会議		ISSCC2018報告会	2018/2/27	100,000	100,000	承認済
2018	13	2018/2/11	CEDA	44	東京	Award	2016-0007	IEEE CEDA All Japan Joint Chapter SASIMI Young Researcher Award Award	2018/3/26	40,000		承認済
2018	14	2018/2/13	CE	8	東京	Award	2015-0015	IEEE CE East Joint Japan Chapter ICCE Young Scientist Paper Award"	2017/1/10	60,000		修正中
2018	15	2018/2/20	EMC	27	東京	Award		IEEE EMC Society Japan Joint / Sendai Chapters Student Award	2018/3/22	17,000		承認済
2018	16	2018/3/7	SSC	37	東京	講演会		奈良先端科学技術大学院大学 太田教授 Distinguished Lecturer講演会	2018/3/19	5,000	5,000	承認済
2018	17	2018/3/13	IE	13	関西	Award	2015-0025	IEEE Industrial Electronics Society Japan Chapter Young Engineer Award	2018/4/14	30,000		修正中
2018	18	2018/3/19	AP	3	福岡	講演会		AP-S Fukuoka Chapter 主催 特別講演	2018/5/17	20,000	20,000	承認済
2018	19	2018/2/26	MAG	33	仙台	講演会		DL講演会	2018/4/20	70,000		修正中
2018	20	2018/4/10	MTT	17	関西	その他		第5世代移動通信(5G)技術の最新動向ワークショップ	2018/5/12			承認済
2018	21	2018/4/11	MTT	17	名古屋	Award	2015-0004	IEEE AP Society Nagoya Chapter and MTT Society Nagoya Chapter Student Award	2018/4/20	20,000		承認済
2018	22	2018/4/19	C	16	関西	講演会		2018年 第1回 IEEE Computer Society Kansai Chapter 技術講演会	2018/5/21	99,660		承認済
2018	23	2018/4/23	MTT	17	東京	講演会		IEEE MTT-S Japan Chapter 講演	5/24,5/28	39,000	36,452	承認済

申請 No.		申請書 受付日	Chap ter	Code	親支部	事業区分 (その他→WS/研究会等)	Award #	タイトル	開催期間	支援金額	支払金額 (確定)	審議状況
2018	24	2018/4/25	EMC	27	東京	講演会		IEEE EMC-S Japan Joint / Sendai Chapters特別講演会	2018/5/30	17,200		承認済
2018	25	4/24(2017年 11/28)	S P	1	東京	Award	2015-0001	IEEE SPS Japan Student Conference Paper Award	2017/12/17	30,000	28,316	承認済
2018	26	4/24(2017年 11/28)	S P	1	東京	Award	2015-0002	IEEE SPS Japan Student Journal Paper Award	2017/12/17	30,000	28,316	承認済
2018	27	4/24(2017年 11/28)	S P	1	東京	Award	2016-0028	IEEE SPS Japan Best Paper Award	2017/12/17	100,000		修正中
2018	28	4/24(2017年 11/28)	S P	1	東京	Award	206-0029	IEEE SPS Tokyo Joint Chapter Student Award	2017/12/17	30,000		修正中
2018	29	2018/4/26	CE	8	関西	Award	2016-0004	IEEE CES West Japan Chapter Young Researcher Award	2018/10/11	60,000		修正中
2018	30	2018/4/27	VT	6	東京	Award	2016-0025	IEEE VTS Tokyo Chapter Student Paper Award	2018/6/4	10,000	10,000	承認済
2018	31		CAS	4	四国	Award	2015-0007	IEEE CASS Shikoku Chapter Young Resercher Award				取下げ
2018	32		CAS	4	四国	Award	2015-0008	IEEE CASS Shikoku Chapter Best Paper Award	2016.9/17	30,000	30,000	承認済
2018	33		CAS	4	四国	Award	2015-0007	IEEE CASS Shikoku Chapter Best Paper Award	2015.9/26	30,000	30,000	承認済
2018	34		CAS	4	四国	Award	2015-0008	IEEE CASS Shikoku Chapter Young Resercher Award	2015.9/26	30,000	30,000	承認済
2018	35	2018/2/13	CE	8	東京	Award	2015-0015	IEEE CE East Joint Japan Chapter ICCE Young Scientist Paper Award	2017.1/10	60,000		修正中
2018	36		CIS	11	東京	Award	2015-0019	IEEE CIS Japan Chapter Young Researcher Award(Symposium on Evolutionary Computation)	2016.8/25-28	15,000		承認済
2018	37		CIS	11	東京	Award	2016-0006	IEEE CIS Japan Chapter Young Researcher Award(SCIS&ISIS 2016)	2016.8/25-28	10,000	10,000	承認済
2018	38	2018/5/14	R	7	東京	Award	2016-0022	IEEE Reliability Society Japan joint Chapter 論文賞	2018/6/16	30,000	30,000	承認済
2018	39	2018/5/14	R	7	東京	その他		IEEE Reliability Society Japan joint Chapter Seminar	2018/6/16	320	0	承認済
2018	40	2018/5/14	R	7	東京	講演会		IEEE Reliability Society Japan joint Chapter Awards 受賞式および受賞記念講演会	2018/6/16	480	0	承認済
2018	41	2018/5/15	PHO	36	東京	講演会		IEEE Photonics Society Japan Chapter主催招待講演	2018/6/13	54,360	54,360	承認済
2018	42	2018/5/18	SSC	37	東京	講演会		KAIST(Korea Advanced Institute of Science and Technology)のHyeon-Min Bae准教授によるDistinguished Lecturer講演会	2018/4/6	5,000		修正中
2018	43	2018/5/18	SSC	37	東京	Award	2015-0060	IEEE SSCS Japan Chapter Academic Research Award	2018/5/14-15	20,000		承認済
2018	44	2018/5/18	SSC	37	東京	講演会		トロント大学のAli Sheikholeslami教授によるDistinguished Lecturer講演会	2018/5/17	5,000		修正中
2018	45	2018/6/5	MTT	17	関西	その他		第11回マイクロ波英語発表会	2018/7/7	47,000		取下げ
2018	46	2018/6/16	CIS	11	東京	Award	2016-0020	IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter Young Researcher Award (コンピューテーショナル・インテリジェンス研究会)	6/16-17	15,000		承認済

申請 No.		申請書 受付日	Chapter Code	親支部	事業区分 (その他→WS/研究会等)	Award #	タイトル	開催期間	支援金額	支払金額 (確定)	審議状況
2018	47	2018/6/8	SP	1	東京	講演会	Prof_Thierry_Blu講演会	2018/7/10	8,380	8,380	承認済
2018	48	2018/6/27	PC	26	東京	その他	IEEE PCS Japan Chapter 1st Workshop & Technical Meeting 2018	2018/7/7	44,364	44,364	承認済
2018	49	2018/6/28	SMC	28	広島	講演会	IEEE SMC Hiroshima Chapter 主催Special Lecture	2018/7/28	31,540	30,817	承認済
2018	50	2018/6/29	EMC	27	東京	講演会	IEEE EMC-S Japan Joint / Sendai Chapter講演会	2017.12/8	100,000	59,602	承認済
2018	51	2018/7/2	CEDA	44	東京	Award	2015-0063 IEEE CEDA All Japan Joint Chapter Academic Research Award	8/29,12/6	40,000	20,000	承認済
2018	52	2018/7/3	C	16	東京	Award	2018-0003 IEEE Computer Society Japan Chapter SES Young Researcher Award	2018/9/7	20,000	10,000	承認済
2018	53	2018/7/4	AES	10	東京	講演会	AES Japan Chapter 共催 特別講演	2018/8/6	90,000		再審議中
2018	54	2018/7/4	IT	12	東京	Award	2016-0027 IEEE Information Theory Society Japan Chapter Young Researcher Best Paper Award	10/28-31	90,000	90,000	承認済
2018	55	2018/7/11	ED	15	東京	その他	EDTM報告会	2018/8/2	40,000	33,243	承認済
2018	56	2018/7/17	GRS	29	東京	その他	IEEE GRSS Japan Chapter SAR Tutorial 2018	8/30-31	100,000	100,000	承認済
2018	57	2018/7/23	CAS	4	四国	Award	2015-0008 IEEE CASS Shikoku Chapter Best Paper Award	2018/9/22	30,000		承認済
2018	58	2018/7/23	CAS	4	四国	Award	2015-0007 IEEE CASS Shikoku Chapter young Researcher Award	2018/9/22	20,000		承認済
2018	59	2018/7/24	MTT	17	関西	その他	「メタマテリアルの新しい応用・展開」ワークショップ	2018/8/25	82,000		承認済
2018	60	2018/7/26	VT	6	東京	Award	2016-0025 IEEE VTS Tokyo Chapter Student Paper Award	2018/8/28	10,000		承認済
2018	61	2018/7/25	MTT	17	名古屋	講演会	2018IEEE MTT-S 名古屋チャプター主催 特別講演会	2018/9/20-21	100,000		修正中
2018	62	2018/8/16	IM	9	東京	Award	2015-0016 IEEE IM Japan Chapter Student Award	11/15,12/20	30,000		承認済
2018	63	2018/8/16	C	16	東京	Award	2015-0033 IEEE Computer Society Japan Chapter JAWS Young Researcher Award	2018/9/14	50,000		修正中
2018	64	2018/8/17	SSC	37	東京	講演会	米国UCLA(University of California, Los Angeles)の Asad A. Abidi教授による講演会	2018/6/27	55,000		承認済
2018	65	2018/8/20	C	16	東京	Award	2015-0035 IEEE Computer Society Japan Chapter FOSE Young Researcher Award	2018/11/17	30,000		修正中
2018	66	2018/8/22	AP	3	福岡	講演会	IEEE AP-S Fukuoka Chapter 特別講演	2018/9/26	30,000	26,900	承認済
2018	67	2018/8/22	AP	3	福岡	その他	第71回電気・情報関係学会九州支部連合大会 国際セッション(電磁波・アンテナ)	2018/9/27-28	16,180	13,080	承認済
2018	68	2018/8/23	PHO	36	関西	Award	2016-0012 IEEE Photonics Society Kansai Chapter Best Student Presentation Award	2018/9/29	10,000		承認済
2018	69	2018/8/24	AP	3	関西	講演会	IEEE AP-S Kansai Joint Chapter 特別講演	2018/10/18	30,000		修正中

申請 No.		申請書 受付日	Chap ter	Code	親支部	事業区分 (その他→WS/研究会等)	Award #	タイトル	開催期間	支援金額	支払金額 (確定)	審議状況
2018	70	2018/9/10	RA	24	東京	Award	2015-0043	IEEE Robotics and Automation Society, Japan-Joint Chapter Young Award (IROS/CASE)	2018/10/1-5	50,000	50,000	承認済
2018	71	2018/9/11	AP	3	東京	Award	2015-0005	IEEE AP-S Japan Student Award	2018/12/13	30,000		承認済
2018	72	2018/9/11	AP	3	東京	Award	2015-0006	IEEE AP-S Japan Young Engineer Award	2018/12/13	60,000		承認済
2018	73	2018/9/12	MTT	17	関西	その他		第11回マイクロ波英語発表会	2018/10/13	47,000		承認済
2018	74	2018/9/14	IT	12	東京	講演会		若手研究者のための講演会	2018/12/18	66,000		修正中
2018	75	2018/9/14	IT	12	東京	その他		IEEE IT Society Japan Chapter総会の開催と会員勧誘ブース設置	2018/12/18-21	64,600		修正中
2008	76	2018/9/25	SSC	37	東京	Award	2015-0061	IEEE SSCS Japan Chapter VDEC Design Award	2018/9/28-29	10,000		承認済
2018	77	2018/9/26	SP	1	東京	Award	2016-0029	IEEE SPS Tokyo Joint Chapter Student Award	2018/11/30	30,000		修正中
2018	78	2018/9/26	SP	1	東京	Award	2016-0028	IEEE SPS Japan Best Paper Award	11月	90,000		修正中
2018	79	2018/9/26	SP	1	東京	Award	2015-0001	IEEE SPS Japan Student Conference Paper Award	11月	30,000		承認済
2018	80	2018/9/26	SP	1	東京	Award	2015-0002	IEEE SPS Japan Student Journal Paper Award	11月	30,000		承認済
2018	81	2018/10/5	EPS	21	東京	講演会		2018年第3回IEEE EPS Japan Chapterイブニングミーティング	2018/10/5	90,000		承認済
2018	82	2018/10/5	CAS	4	四国	その他		IEEE CASS Shanghai and Shikoku Chapters Joint Workshop on Circuits and Systems	2018/11/5-7	100,000		審議中
2018	83	2018/10/8	ITS	38	名古屋	Award	2016-0001	IEEE ITS Society Nagoya Chapter Young Researcher Award	12月	20,000		承認済
2018	84	2018/10/8	CEDA	44	東京	Award	2015-0064	IEEE CEDA All Japan Joint Chapter Design Gaia Best Poster Award	2018/12/6	21,000		承認済
2018	85	2018/10/9	MTT	17	東京	Award	2015-0037	IEEE MTT-S Japan Young Engineer Award	2018/11/29	90,000		承認済
2018	86	2018/10/9	CAS	4	四国	その他		IEEE Workshop on Nonlinear Circuit Networks	2018/12/7-8	100,000		承認済
2018	87	2018/10/9	AP	3	福岡	講演会		IEEE AP-S Fukuoka Chapter 特別講演	2018/11/21	40,200		承認済
2018	88	2018/10/17	AP	3	名古屋	その他		Midland Student Express 2018 Autumn	2018/11/16	18,000		審議中
2018	89	2018/10/18	C	16	関西	講演会		2018年 第2回 IEEE Computer Society Kansai Chapter 技術講演会	2018/11/19	76,500		審議中
2018	90	2018/10/19	RA	24	東京	Award	2015-0044	IEEE Robotics and Automation Society, Japan-Joint Chapter Young Award (ICRA)	2018/5/21-25	50,000		審議中
2018	91	2018/10/26	IM	9	東京	その他		IEEE 主催 2018年度 第2回「学生研究発表会」	2018/12/20	13,200		審議中
2018	92	2018/10/31	EMC	27	東京	講演会		IEEE EMC-S Japan Joint/Sendai Chapter 講演会	2018/12/7	100,000		審議中
2018	93	2018/11/1	SMC	28	広島	講演会		IEEE SMC Hiroshima Chapter 主催 Special Lecture	2018/12/1	10,000		審議中

申請 No.		申請書 受付日	Chap ter	Code	親支部	事業区分 (その他→WS/研究会等)	Award #	タイトル	開催期間	支援金額	支払金額 (確定)	審議状況
2018	94	2018/11/1	SMC	28	広島	Award	2016-0017	IEEE SMC Hiroshima Chapter Young Researcher Award	2018/12/1	10,000		審議中
2018	95	2018/11/7	MTT	17	関西	Award	2015-0036	IEEE MTT-S Kansai Chapter Best Young Presentation Award	2018/12/8	20,000		審議中
2018	96	2018/11/7	PE	31	東京	Award	2015-0051	IEEE PES Japan Joint Chapter Student Best Paper Award	2019/1/17	30,000		審議中
合計										4,043,984	1,253,092	
予算										4,000,000	4,000,000	
予算残										-43,984	2,746,908	
合計										4,043,984	1,253,092	

IEEE Japan Council Student Activities Committee (IEEE-JC SAC)

2018年活動報告および2019年活動計画

2018年11月22日

IEEE JC SAC Chair 大越康晴

1. 2018年活動報告

① SB新設の促進およびSB活動の活性化について

設立の可能性が高い大学について、YPとも連携しながら、継続的に働きかけている。今年の8月に開催した Student Leadership Training Workshop では、各 SB Chair に IEEE OU Analytics を利用した SB の member 数の確認方法を紹介し、実際に、現状の会員状況を確認した。現在10名未満の青山学院大学、兵庫県立大学、電機大学には、会員情報の登録状況の確認も含め、会員数の増加を至急の検討課題として検討を依頼している。また、東京大学については、個人の会員登録情報において、これまで複数の英語名称で個々に登録されているため、正式名称の「The University of Tokyo」として登録するように依頼している。

② 定常的なSB活動への支援

昨年に引き続き、JC SAC 学生代表を定め、東京支部学生代表と関西支部学生代表と連携しながら、国内のSB活動の活性化を図る体制を整えている。また、各支部のSACとも情報共有を行いながら、ガイドラインに沿って、SBの論文コンテスト(ソウル)やSB間交流活動等の支援を行っている。また、YP、WIE、LMAGのAffinity Groupと連携することにより、学生会員のretention向上を図っている。

③ Student Leadership Training Workshop の実施

8月7~8日に、東京電機大学(東京千住キャンパス)にて、Student Leadership Training Workshop を開催した。17のSB(北海道大学、東北大学、明治大学、東京理科大学、電気通信大学、早稲田大学、東京農工大学、東京電機大学、青山学院大学、大阪大学、関西大学、同志社大学、兵庫県立大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、福井大学、熊本大学)から31名の代表が参加した。

Day 1

<Tuesday, 7th August>

14:00 - 14:20 Registration

14:20 - 14:40 Greetings / Self Introduction of SB Members / Agenda Confirmation

14:50 - 17:00 Student Branch Activity Report / Discussion

17:30 - 19:30 Welcome Reception

Day2

<Wednesday, 8th August>

09:00 - 09:20 Registration

09:20 - 10:20 Leadership Training (by JC SAC Chair)

10:30 - 12:00 Student Activities Workshop and Group Discussion (Students)

12:00 - 12:10 Closing

④ R10 Student Congress (Aug. 24 – 26, 2018, Bali, Indonesia)への派遣

JC SAC からは, SB の代表として下記 6 名の派遣した.

露口楓 (北海道大学)	庄司拓句 (東京農工大学)
中村文香 (横浜国立大学)	小野寺俊 (青山学院大学)
MOHAMMAD MIKAL (明治大学)	亀崎太一 (熊本大学)

⑤ SB への Rebate 手続きについて

日本の全ての学生支部への Rebate が当該支部に送金されるように, 仕組みが整えられている.

⑥ JC SAC 活動費 (2018 年)

2018 年通期収支予想

活動項目	支出金額
SBLTW (会場費, 会場備品費, ケータリング費, プラーク代)	176,422 円
SBLTW 旅費	511,568 円
R10 SYWL Congress 参加支援	734,355 円
海外支部等との学生交流 (論文コンテスト旅費)	250,000 円
その他 SB 活動支援	15,000 円
合計	1,687,345 円

※2018 年予算 2,150,000 円 (残金 : 462,655 円)

2019年活動計画

① 2019-2020体制

Chair: 梶川嘉延 (KAJIKAWA Yoshinobu) 関西大学
Vice Chair: 大野公平 (Kohei Ohno) 明治大学
Secretary: 小澤佑介 (Kozawa Yusuke) 茨城大学

② IEEE Student Branch Leadership Training Workshop (SBLTW) の開催

毎年開催しているワークショップであり、2019年については、5~8月にて開催を予定している。

③ 学生ブランチ新設の促進

継続して、新学生支部設立の可能性のある大学について設立の働きかけを行う。

④ 定常的な学生ブランチ活動への支援

学生ブランチ活動の支援に対するガイドラインに沿って、例年通り、SBのイベント(論文コンテスト、ワークショップ等)やSB間の交流活動等の支援を行う。また、YPやWIEと連携し、卒業後の会員のretention向上に結びつける。

⑤ R10の支部やイベントを通じた学生交流支援

TENCON 2019では、Students, Young Professionals, WIEと企業とのSpecial TrackがR10YP中心に企画されており、各SBより応募者を募り、数名(2~4名)を派遣する予定である。また、ソウル支部との交流についても、論文コンテスト等による学生交流支援を継続する。

⑥ SPAX (student professional awareness) 開催について

SPAXについては、JC SACが従来から実施しているStudent Leadership Training Workshopや、YPやWIEなど東京支部他でも実施されているSYWLworkshopなどにも関連するため、各SBに周知し、積極的なSBについては、開催に向けてYP、WIE、LMAGと連携を図りながら支援を行う。

⑦ SBへのRebate手続きについて

現在、日本の全SBへのRebateが、所属の支部に送金されるように仕組みが整えられており、これを継続する。

⑧ JC SAC 活動費予算案(2019年)

JC SAC 予算案(2019年)

活動項目	金額
SBLTW, 活動支援等 (学生旅費+活動支援等: 90万円, 実施費用: 10万円)	1,000,000円
海外支部等との学生交流 (Students, Young Professionals, WIE と企業との Special Track @ TENCON 2019 - SYP Meet Industries: 33万円, 論文コンテスト 旅費: 25万円)	580,000円
その他 (バナー, 盾など: 10万円)	100,000円
合計	1,680,000円

以上

IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 2018

開催報告

IEEE Tokyo Denki University Student Branch Chair

新井正樹

2018年8月7日～8日にIEEE JC SAC主催のStudent Branch Leadership Training Workshop (SBLTW) 2018が東京電機大学千住キャンパスにて開催され、国内17のSBから31名の学生代表が参加した。東京支部からは、明治大、理科大、電通大、早大、農工大、青学、電機大の7SBsの13名が参加した。当日のSBLTWのプログラムは以下のとおりである。

7日のワークショップでは、各SBより活動報告と研究内容のポスター発表が行われた。活動報告では、レポートの書き方や英語での研究発表、企業と交流など、それぞれの特色が紹介され、多くのSBで課題となっている人数不足への対策や取り組みについて議論された。また、夜の懇親会では、研究や日常生活などを話しながら支部や大学の隔てがない交流が行われた。

8日には、IEEEについてのクイズや説明などが行われた。

また、グループディスカッション(ブレインストーミング)では、「AIの発展に伴う技術・技術者の今後」というテーマで、各グループで様々なアイデアが発表された。

今回のワークショップは、台風が日本列島を襲い、参加者は交通手段や安全面が心配されたが、トラブルなく無事に終了した。

今回のSBLTWのプログラムや活動風景を以下のものであった。

Program

<Tuesday, 7th, August>

14:00 – 14:20 Registration

14:20 – 14:40 Greetings/ Self Introduction of SB Members/ Agenda Confirmation

14:50 – 17:00 Student Branch Activity Report/ Discussion

17:30 – 19:30 Welcome Reception

<Wednesday, 8th, August>

09:00 – 09:20 Registration

09:20 – 10:20 Leadership Training (by JC SAC Chair)

10:30 – 12:00 Student Activities Workshop and Group Discussion (Student)

12:00 – 12:10 Closing





ブレインストーミングにおける議論や発表風景

(JC 理事会資料案)

Awards Committeeの活動状況について

2018年12月4日

IEEE-JC Awards Committee

Chair 桑原 秀夫

Vice Chair 波多野 睦子

Secretary 鷹取 泰司

1. 活動状況 (報告)

- ・支部委員及び本部委員のアップデートを実施し、10月19日にJCACの全体会合（電話会議併用）を開催し、受賞数の推移の分析、及び各賞の推薦状況に関するノウハウの共有を行った。
- ・Medal, Recognition, Technical Field Awardsの各受賞数の推移及び受賞状況のアップデートを実施した。

2. 今後の予定 (案)

- ・全体会合（電話会議併用）を年1回開催とし、開催時期は9～10月頃とする。
- ・フェロー推薦、Medal, Recognition, Technical Field Awardsについて支部と連携して推薦の促進を行う。

3. 2019年の予算について (案)

15万円： 1回の会合費（旅費及び会議室料金）

以上

2018.12.04

委員リスト (2018.11 現在)

種別	役職	氏名	備考
JCAC core	Chair	桑原 秀夫	
	Vice Chair	波多野 睦子	
	アドバイザー	青山 友紀	
	Secretary	鷹取 泰司	
	JC理事会からのメンバ	南 隆敏	
	JC理事会からのメンバ	橋本 隆子	
支部	札幌支部	宮永 喜一	
	仙台支部	尾辻 泰一	
	東京支部	杉江 利彦	
	信越支部	山口 芳雄	
	名古屋支部	中村 剛士	
	関西支部	土屋 達弘	
	広島支部	山之上 卓	
	四国支部	吉田 真一	
	福岡支部	湯浅 裕美	
	IEEE Awards Board	南 隆敏	再掲
	IEEE Awards Board Joint Awards with National Societies Committee	原島 文雄	
	Awards Policy and Portfolio Review Committee	南 隆敏	再掲
	IEEE Medal of Honor	江刺 正喜	
	IEEE Edison Medal	桑原 秀夫	再掲
	IEEE Medal for Environmental and Safety Technologies	新妻 実保子	
	IEEE Founders Medal	金出 武雄	
南谷 崇			

本部	IEEE Jack S. Kilby Signal Processing Medal	牧野 昭二	
	IEEE/RSE Wolfson James Clerk Maxwell Award	加納 貞彦	
		浅井 光太郎	
	IEEE James H. Mulligan, Jr. Education Medal	古井 貞熙	
	IEEE Robert N. Noyce Medal	石内 秀美	
	IEEE Medal in Power Engineering	河村 篤男	
		大西 公平	
	IEEE John von Neumann Medal	松岡 聡	
	IEEE Cledo Brunetti Award	丹羽 正昭	
	IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award	片桐 滋	
		広瀬 啓吉	
	IEEE Andrew S. Grove Award	平本 俊郎	
		若林 整	
	IEEE Masaru Ibuka Consumer Electronics Award	相澤 清晴	
	IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award	西原 明法	
	IEEE Donald O. Pederson Award in Solid-State Circuits	日高 秀人	
	IEEE Frederik Philips Award	小野寺 秀俊	
	IEEE Photonics Award	荒川 泰彦	
	IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award	堀田 多加志	
	IEEE Nikola Tesla Award	松瀬 貢規	
Corporate Recognitions:IEEE Corporate Innovation Award	岩井 洋		
	Yoshi Nishi		